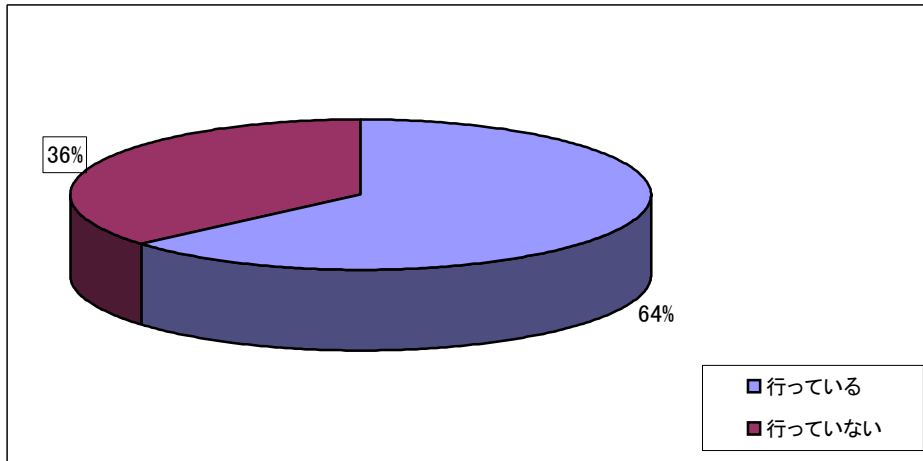


済生会山形「PEG勉強会」(PDN院内セミナー)

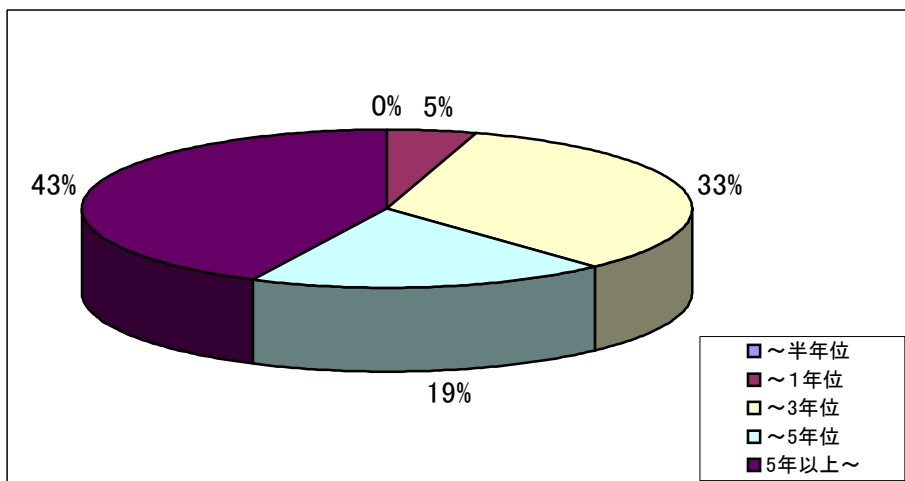
アンケート集計結果

平成18年10月22日(日)開催
(33名回答)

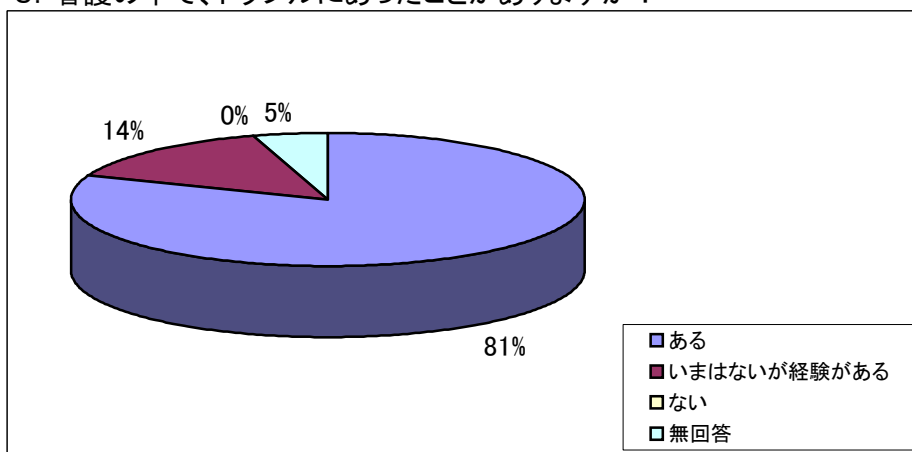
1. あなたは、現在、PEGの看護を行っていますか？



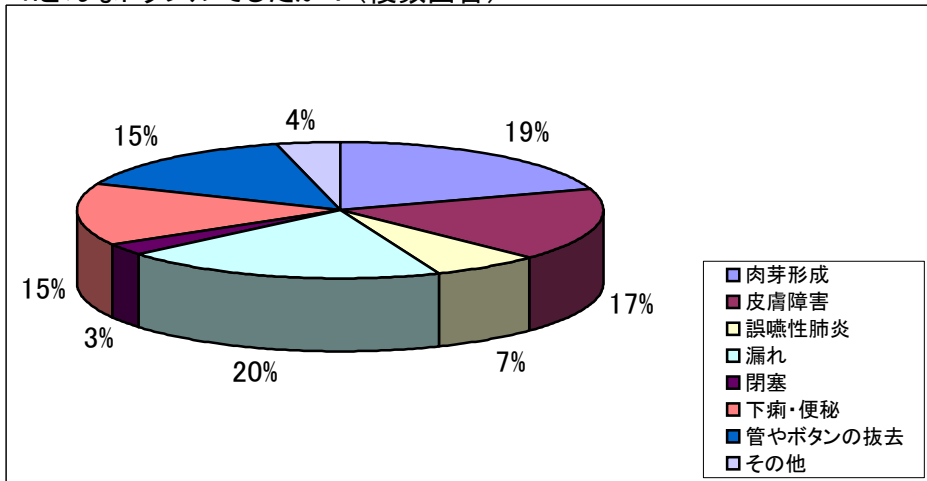
2. PEGの看護を行うようになってから何年になりますか？



3. 看護の中で、トラブルにあったことがありますか？

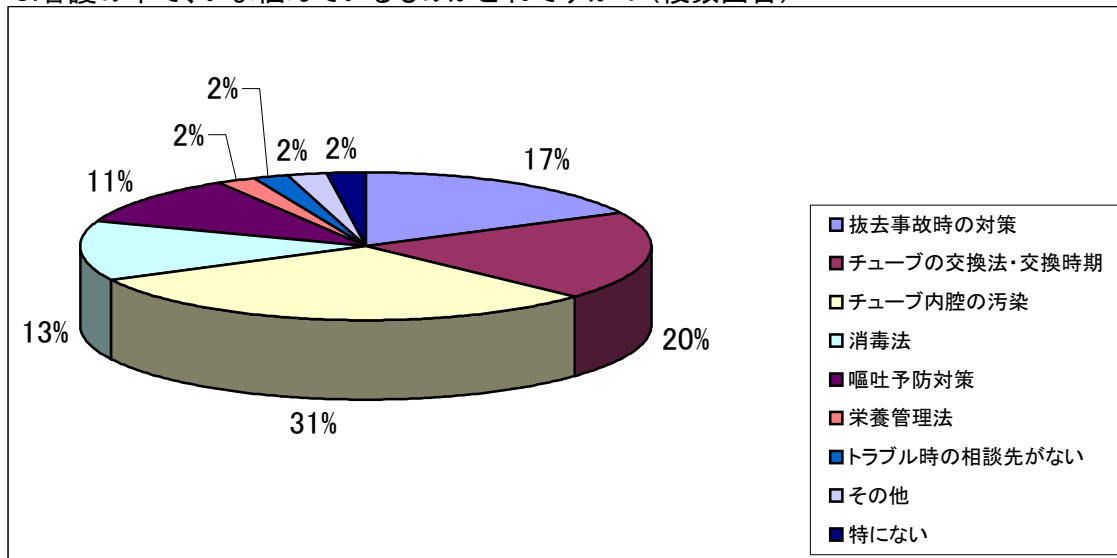


4.どんなトラブルでしたか？（複数回答）

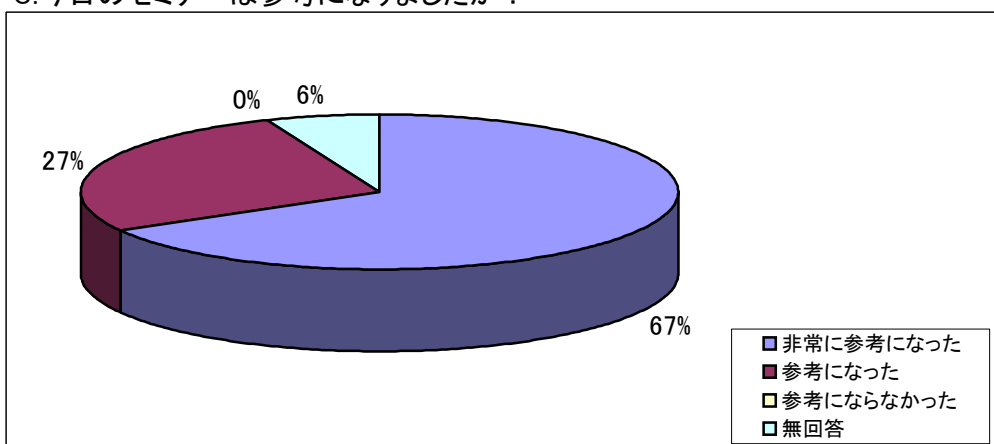


その他：嘔吐

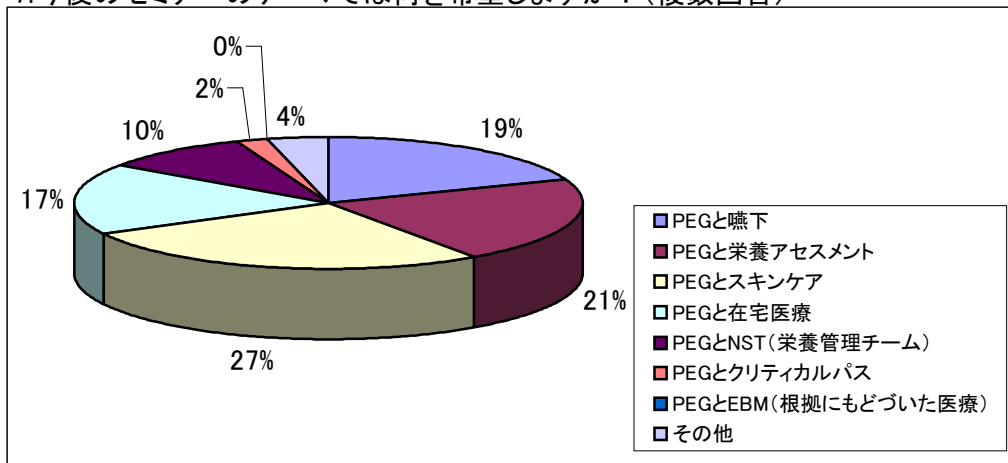
5.看護の中で、いま悩んでいるものがどれですか？（複数回答）



6.今日のセミナーは参考になりましたか？

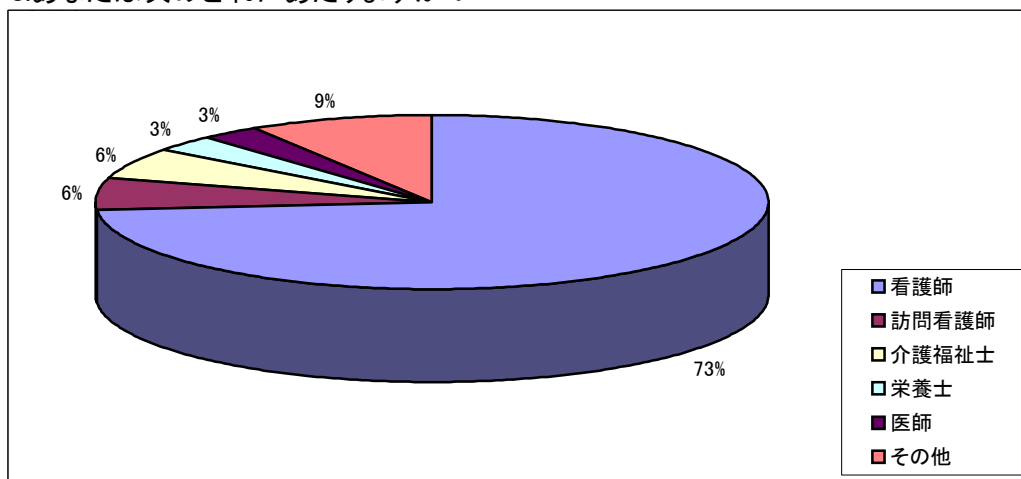


7.今後のセミナーのテーマでは何を希望しますか？（複数回答）



その他：口腔ケア

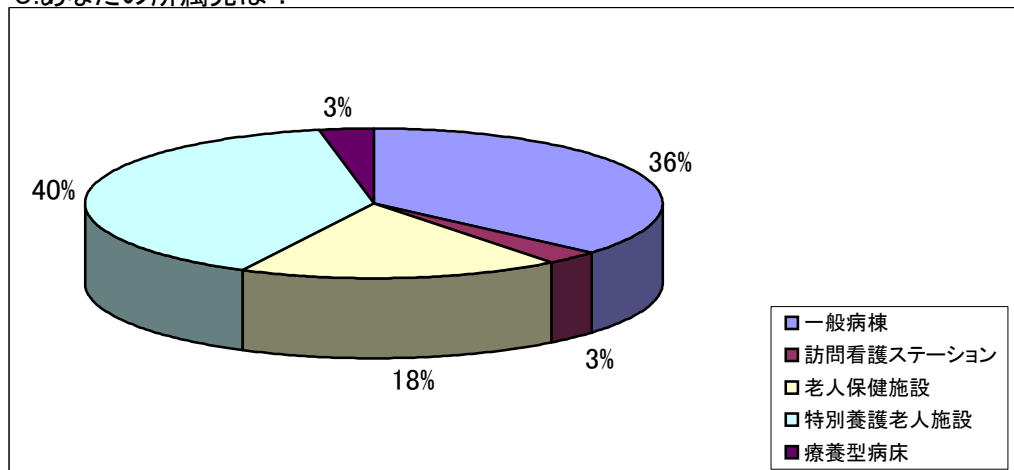
8.あなたは次のどれにあたりますか？



その他：介護職
生活相談員
特別養護老人ホーム荘長

1
2
1

9.あなたの所属先は？



10.PEGの正しい理解のためにはどのようなことが解決されなければならないとお考えですか？

どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をお聞かせ下さい。

- ・ PEG造設の説明の際、PEG造設は「もうたべられない」、「もうおわり」と考えてる家族が多く、受け入れてもらえないケースもいくつかあり、介護職員ももっと勉強する機会があれば良いと思った。
- ・ PEGに詳しいDr.が少ないように思う。
- ・ 約2週間の入院期間で高齢の介護者に十分注入法など理解できるのか疑問です。
- ・ とってもためになりました。ありがとうございました。
- ・ PEGの知識(造設医以外のDr.の働きかけ)
造設をお願いする側と受ける側の連携(すべての関係者の)
- ・ 幅広く広報していき、たくさんの人に理解・知識を持ってもらうこと。
口腔ケアとの関係の周知。
- ・ PEGとは何か、PEGの管理の仕方(清潔保持)、PEGをされている方への注意点をきちんと配握した上で、関わらなくてはならない。
- ・ 老健でも胃ろうの方が本当に増えて、流しっぱなし状態です。経口摂取が少しでも可能ならば、行っていきたいと思うのですが、専門職もおらず、誤嚥がこわくてできません。食べるための胃ろうなんて夢のまた夢という感じです。胃ろう造設した病院の継続したフォローがやっぱりあったらなと思います。
- ・ 口腔ケアは胃瘻がセットであること。胃瘻造設して安心ではなく、ゴールは食べるための胃瘻であることがまだまだ努力が不足している現実であると思います。今回の勉強会を今後参考に推進して参りたいと思います。
一日お疲れ様でした。ありがとうございました。
- ・ PEGについての適正な知識をまず得ることが必要と、今回の研修に参加し痛感しました。
- ・ 非常に参考になりました。有難うございました。
- ・ 特養の栄養士なのですが、基本的な事もわかっておりませんでしたので、大変勉強になりました。ありがとうございました。